

ツインシティ倉見地区 まちづくりニュース

ツインシティ倉見地区は骨格の一部となる倉見大神線の一般4車線化へ向けた検討が進められています

現在のまちづくりや、県が進めようとしている、都市計画道路倉見大神線の取り組み状況をお伝えするため、町と県の職員により、面整備検討区域の関係権利者の皆さまを対象とした「ツインシティ倉見地区まちづくり説明会」を開催しました。その内容については、次のとおりです。

【開催日・場所】 ※計69名参加

- 6月30日(木)桜町会館
- 7月3日(日)倉見地域集会所
- 7月4日(月)北部文化福祉会館

県からは広域的な見地より、

- ツインシティを取り巻く県央・湘南都市圏の概要について
- ツインシティをつなぐ倉見大神線の一般4車線化について

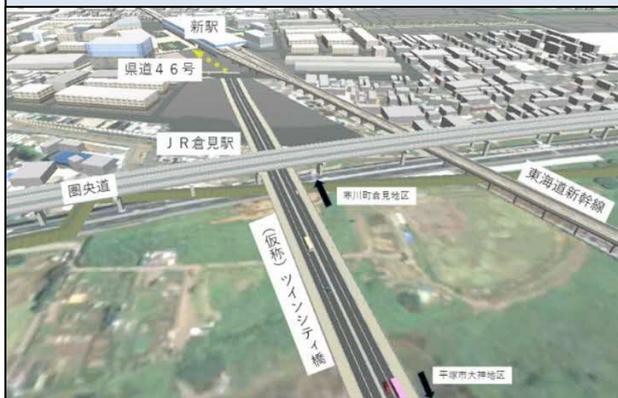
町からは、

- ツインシティ倉見地区まちづくりについて

これらの内容を、県・町協同で、皆さまへご説明させていただきました。

倉見大神線

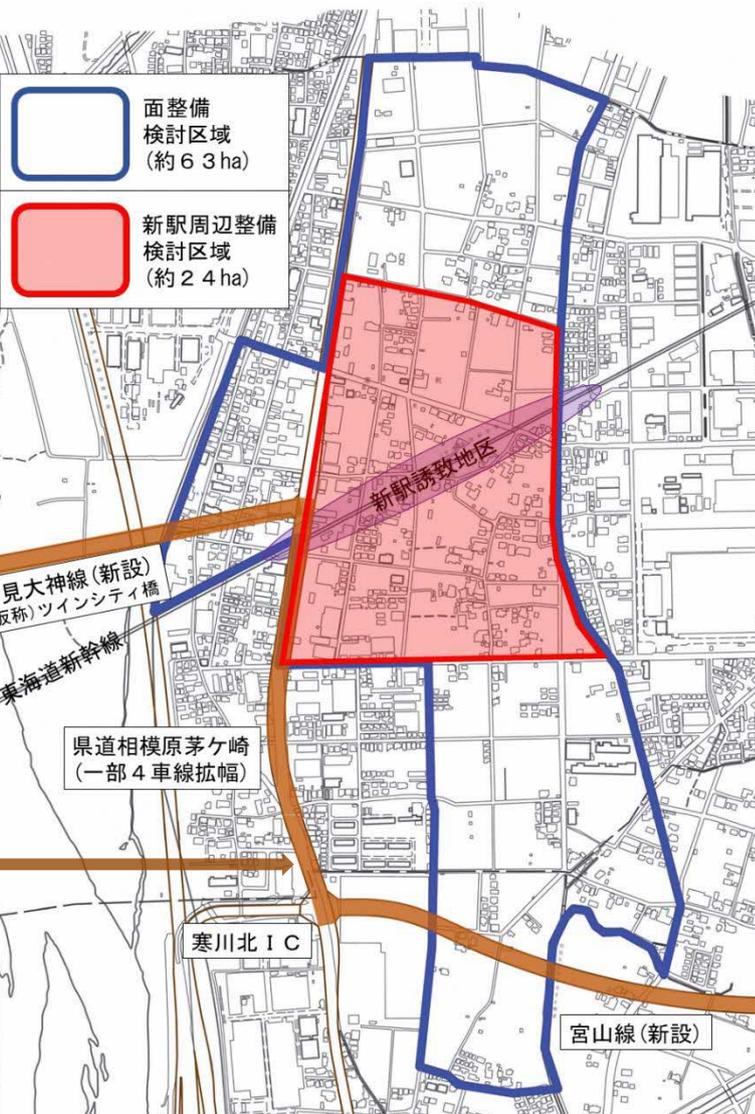
※このイメージ図は、(仮称)ツインシティ橋を想定した場合の一例であり、今後皆さまへご説明、ご理解いただきながら定めていくこととなります。



藤沢市湘南台～平塚市大神の区間が県道410号湘南台大神(4車線予定)として認定(R3.3)されました。

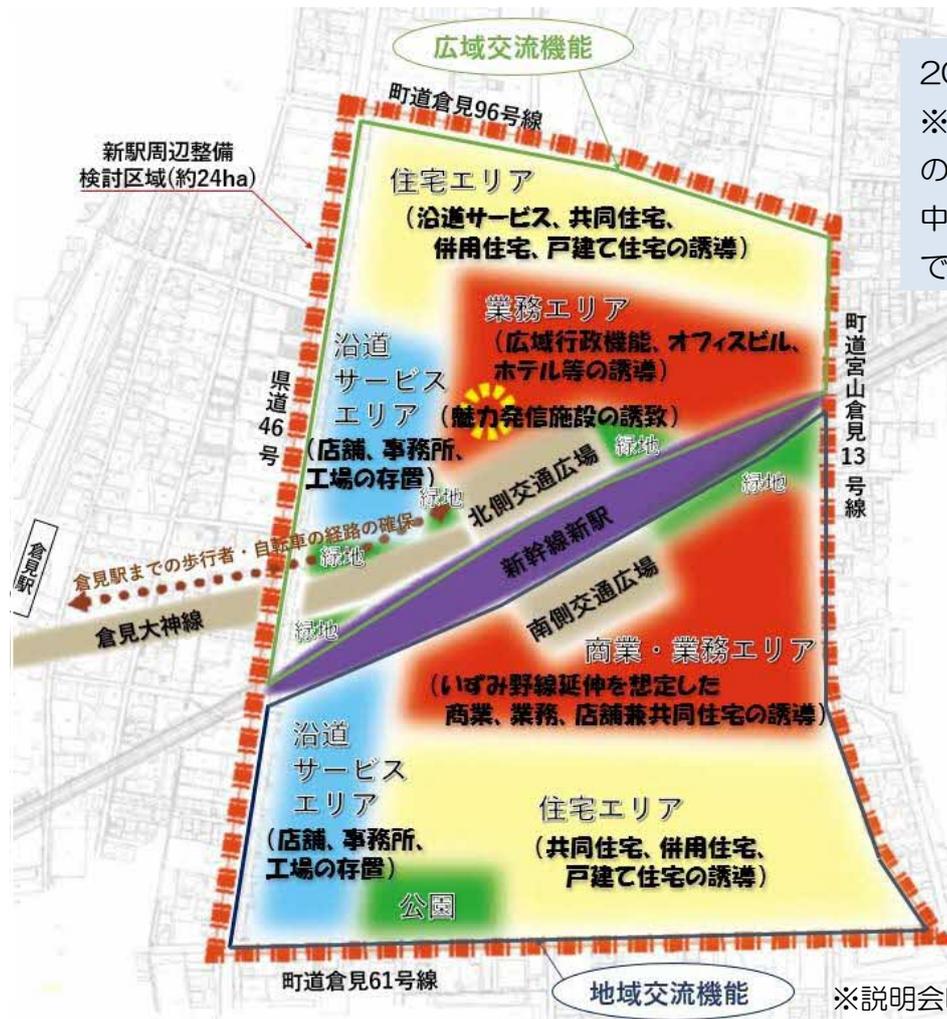


※令和3年第1回神奈川県議会定例会資料より抜粋



新駅周辺整備検討区域内において土地利用の検討を進めています

新駅周辺整備検討区域内の想定される交通広場、道路等の都市施設配置（案）や土地利用の考え方を示すたたき台です。



2022年2月現在
 ※道路等の施設配置、各エリアの規模、配置、用途は現在検討中の内容であり、決定したものではありません。

凡例	
	住宅エリア
	商業・業務エリア
	沿道サービスエリア
	公園エリア
	交通広場・倉見大神線
	新幹線新駅

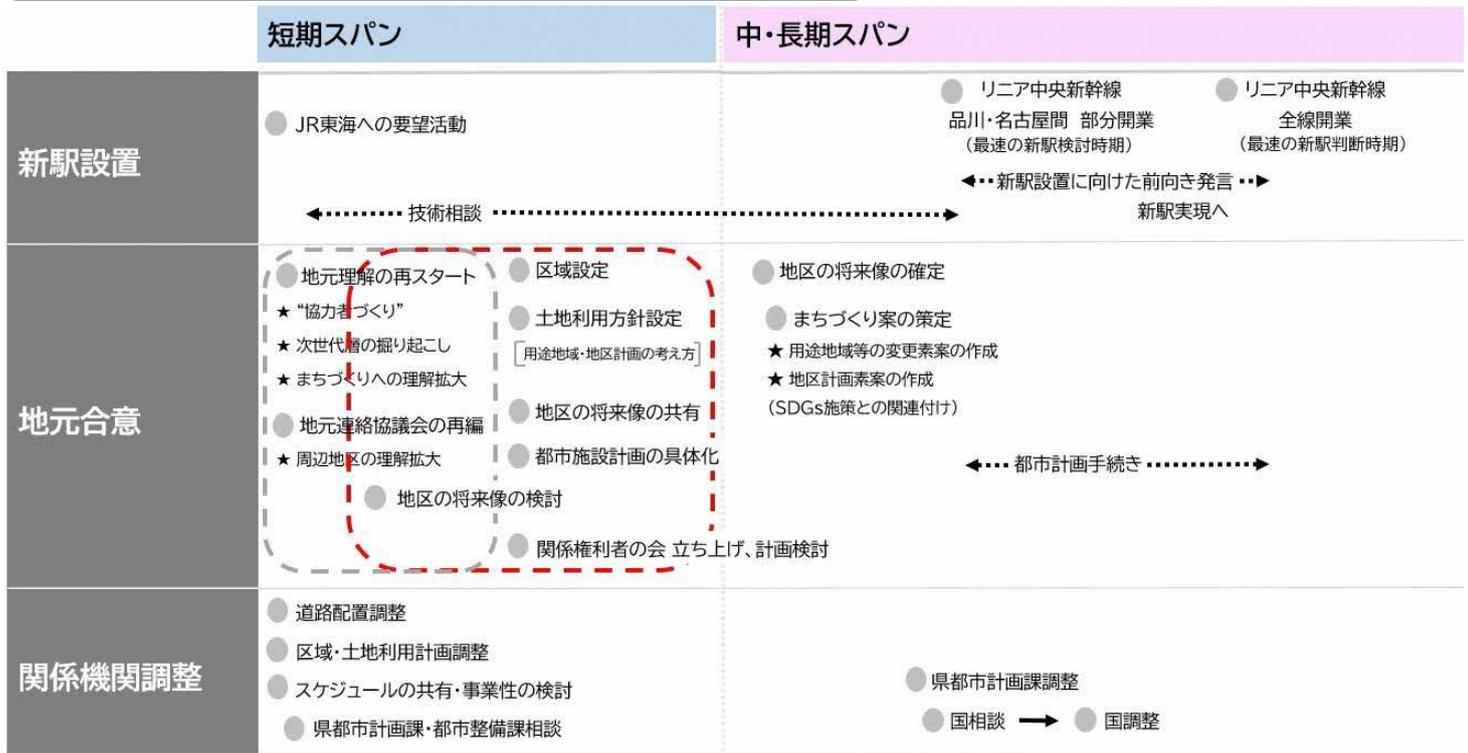
※説明会時の資料に一部修正を加えています

エリア	基本的な考え方
新幹線新駅	東海道新幹線の新駅を誘致
交通広場 ・ 倉見大神線	<u>交通広場</u> 広域交流拠点としての利便性、防災性の高い交通空間の創出 <u>倉見大神線</u> 広域交通結節点としての公共交通網の強化
公園・緑地	地域住民の憩いの場としての利用や、新駅を中心とした緑の拠点の創出を図る
業務エリア	国・県等の広域行政機能 や、オフィスビル等の都市の魅力向上に資する、交流機能の充実を促す
魅力発信施設	エリアマネジメント活動拠点、来訪者に地域の魅力を伝え、地域住民に日常的に利用される店舗等のスペースを配置する
商業・業務エリア	いづみ野線延伸を想定した商業・サービスの機能集積により賑わいの創出を図る
沿道サービスエリア	周辺環境に配慮しつつ産業機能の維持・向上を目指す
住宅エリア	良好な居住環境、賑わい空間の創出を図る

機能	基本的な考え方
広域交流機能	広域交流網を生かした全国の窓口（ゲート）としての交流機能を集約
地域交流機能	既存商業等と共存しつつ飲食や娯楽等の地域交流機能を集約

ツインシティ倉見地区まちづくりスケジュール(案)

※説明会時の資料に一部修正を加えています



町からの説明内容(一部抜粋)

グレーの点線囲い部分

地元理解の再スタートということで、更なるまちづくりへの協力者の拡大を図るとともに、再編した東海道新幹線新駅誘致地区周辺まちづくり連絡協議会において、まちづくりについて調査研究及び検討をしています。

赤の点線囲い部分

新駅周辺整備検討区域 (H26.9 提示) の中身を決めていくため、左図のたたき台をもとに、土地利用、それを支える交通広場、道路等の都市施設などについて、地元の方々とのお話し合いを引き続きさせていただきたいと考えています。

今後の地元合意への進め方について 赤の点線囲い部分

- ・町では、将来の土地利用の絵姿だけではなく、今後必要とされるような情報に関して、「土地利用を実現するためには、どのような事業手法で進めるべきなのか」の検討に取り掛かる段階と捉えています。
- ・事業手法については、まちづくりに必要な情報をお伝えし、連絡協議会を通じて理解を深めていきたいと考えています。また、以下①～③のように取り組んでまいりますので、広くご意見をいただけるようご参加をお願いします。



今後、皆さまからいただいたご意見をもとに、計画素案を作成してまいります。それまで、

- ① どの様なご意見が出されたか
- ② 計画素案にご意見をどの様に反映させたのか
- ③ 計画素案の考え方やその後の進め方について

といった事柄については、順次、皆さまへお示ししていきたくと考えています。

主なご意見

説明会での主なご意見と
町の考え方（お答え）をご紹介します

桜町会館での質疑応答



■(仮称)ツインシティ橋及び県道相模原茅ヶ崎について

【質問】 ツインシティ橋は具体的にどの辺りを通るのか。
また、県道46号を4車線化する区間は。

《回答》 計画変更前の段階での概ねの位置としましては、倉見駅のホームの南側を通ることになります。また、県道46号については、当初都市計画決定(H27.8)の際より、ツインシティ橋から寒川北ICまでの区間を4車線化する計画となっております。

【質問】 橋が架かるところに家があるので、補償の考え方を示してほしい。

《回答》 現在は、まず以前決定した都市計画を修正する段階で、今後において詳細の設計をする段階となります。ツインシティ橋は、さがみ縦貫道路とJR相模線の間を通るため、道路や鉄道の管理者とも協議をしなければならず、そうした協議を踏まえ、実際にどういう橋を架けるかによって皆さまとどのような調整が必要なのかが決まるため、今後はそうした調査・協議を進めてまいります。

■まちづくりについて

【質問】 新幹線新駅とJR倉見駅のアクセスは徒歩になるのか。アクセスが悪いと、新駅は無視されてしまい、目的とずれてしまうのではないか。

《回答》 乗り換え等の利便性については課題として認識しており、例えば、駅のホームや改札口をなるべく近づけるなど、今後JR東海との技術相談の課題として承知しております。

【質問】 まちづくりには「ゆとり」の視点が大事だと考えていますが、そのような視点を取り入れる考えはあるのか。

《回答》 文化・芸術などの、まちの潤いとなるような要素は、魅力あるまちづくりを行う上で重要なものの一つであり、今後エリアマネジメントとして、都市の経営の中に委ねられることになると考えております。

■その他

【質問】 相模線複線化の話はどうなっているのか。

《回答》 相模線複線化等促進期成同盟会という組織で、取り組みを進めておりますが、直ちに複線化するのは難しい状況です。現在、鉄道網の南北は弱く、北のゲートと南のゲートを結ぶためには、相模線の連絡強化が必要になりますが、相模線複線化へのきっかけとなるのが、新駅の実現可能性になると考えています。

まちづくりに関するご質問・ご意見等がございましたら、お気軽に下記までご連絡下さい。
担当の職員がご自宅にお伺いするなどし、説明をさせていただきます。

〒253-0196

神奈川県高座郡寒川町宮山 165 番地 寒川町拠点づくり部倉見拠点づくり課

TEL:0467-74-1111(内線 740・741) FAX:0467-74-2833

メールアドレス k-kyoten@town.samukawa.kanagawa.jp

ホームページ http://www.town.samukawa.kanagawa.jp